

荒尾市地球温暖化対策実行計画 2020(令和2)年度実績報告

1. 荒尾市地球温暖化対策実行計画 目標

基準年度		2013(平成25)年度	温室効果ガス排出量	削減目標
目標年度	短期目標	2030(令和12)年度	164千 t -CO ₂	48%削減
	長期目標	2050(令和32)年度	実質ゼロ	100%削減

2. 2020(令和2)年度 実績

■温室効果ガス排出量

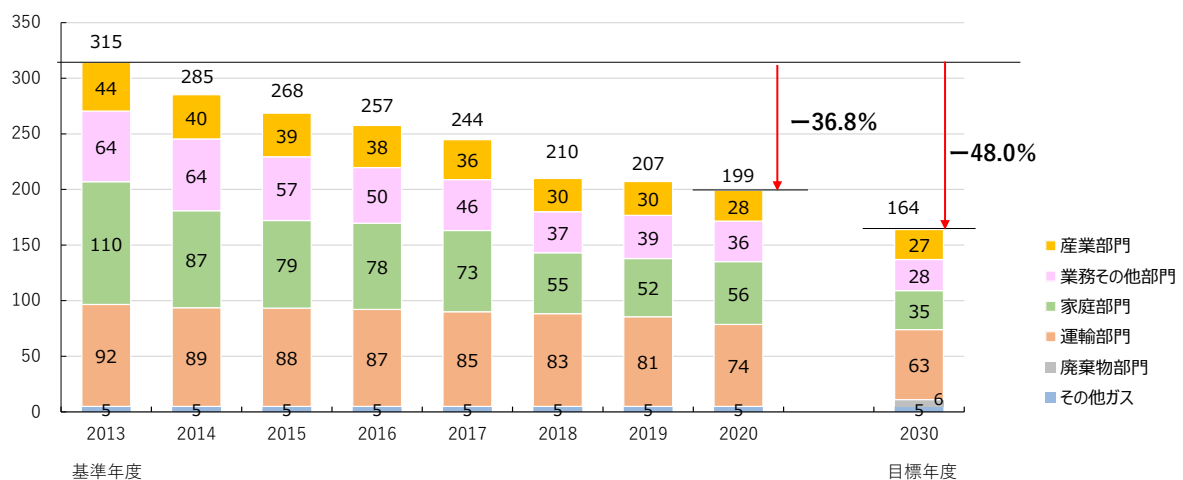
(単位：千 t -CO₂)

	2013 (基準 年度)	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2030 (目標 年度)
産業部門	44	40	39	38	36	30	30	28	27
業務その他部門	64	64	57	50	46	37	39	36	28
家庭部門	110	87	79	78	73	55	52	56	35
運輸部門	92	89	88	87	85	83	81	74	63
廃棄物部門									6
二酸化炭素	309	280	264	253	240	205	202	194	159
メタン	4.3	4.2	3.9	3.9	3.9	4.0	3.9	3.9	4
一酸化二窒素	1.0	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.8	0.8	1
その他ガス	5	5	5	5	5	5	5	5	5
温室効果ガス	315	285	268	257	244	210	207	199	164
削減率	0.0%	-9.3%	-14.7%	-18.2%	-22.3%	-33.3%	-34.2%	-36.8%	-48.0%

■温室効果ガス排出量の推移

排出量

(千t-CO₂)



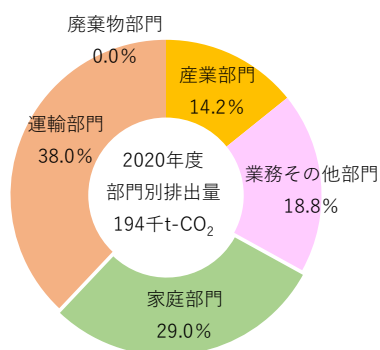
●基準年度(2013年度)と比較して36.8%削減、前年度比で2.6%削減。

●産業部門、業務その他部門、運輸部門が減少し、家庭部門が増加。

2020(令和2)年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、事業活動におけるエネルギー消費量が減少したことにより、産業部門、業務その他部門、運輸部門の排出量が減少し、一方でステイホームの影響により、家庭におけるエネルギー消費量が増加し、家庭部門の排出量が増加したと推測されます。

■CO2排出量部門別割合

	2013 (基準 年度)	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020		2030 (目標 年度)
産業部門	14.2%	14.2%	14.9%	14.9%	14.9%	14.6%	15.1%	14.2%		17.0%
業務その他部門	20.5%	23.0%	21.8%	19.9%	19.1%	18.0%	19.2%	18.8%		17.6%
家庭部門	35.7%	31.1%	29.9%	30.7%	30.5%	26.8%	25.9%	29.0%		22.0%
運輸部門	29.6%	31.7%	33.5%	34.5%	35.4%	40.6%	39.8%	38.0%		39.6%
廃棄物部門	-	-	-	-	-	-	-	-		3.8%



■部門別にみると、運輸部門が約4割を占め最も多く、次いで家庭部門、業務その他部門、産業部門の順となっている。

家庭部門と運輸部門(自家用車から排出されるCO2を含みます)で全体の約7割を占める排出量となっていることから、各家庭における省エネ行動の推進や、太陽光発電システムや電気自動車などの再生可能エネルギーの導入の推進を図る必要があります。

公共施設への省エネ設備や再エネ設備の導入を進めるとともに、市内事業所への脱炭素化の取組の周知啓発を図る必要があります。